



風っ子・環境キャンペーン

伊勢崎市

リユース食器でイベント後 ごみも食べ残しも激減 特定非営利活動法人ぐんまりユース食器センター



どんぶり、お皿、コップ、箸など20種類、3万個の食器を保有。「幼児にぴったりの小さいサイズも用意しました」と高橋さん(写真右)と理事の石田卓大さん

お祭りに代表されるさまざまなお祭りに代表されるさまざまイベント。終わった後にプラスチックや紙でできた使い捨てなイベント。終わった後にプラスチックや紙でできた使い捨て

人はいませんか？ 特定非営利活動法人ぐんまりユース食器センターの高橋美津子理事長もそんな一人でした。

調べてみるとイベントのときに出るごみの7割が食器の容器。しかも、分別されることなく捨てられていたそうです。そんなときに知ったのが、リユース食器の存在でした。洗って繰り返し使えるプラスチック製の食器なので、ごみだけでなく、ごみを燃やすときに出るCO₂も減らせます。早速、すでにリユース食器を使っている山梨県の団体を仲間と見学。2007(平成19)年に群馬初のリユース食器の貸し出しを始めました。初年度、貸し出したのは10回、7710個。その数は年々増え続け、昨年は95回67860個にもなりました。使い捨て容器が1個8割だとすると、去年だけで約540割のごみと、約1.49トンのCO₂の削減をしたことになりました。それに加えて食べ残しも激減、さらに「馳走さま」の言葉がたくさん聞かれるとい



風で飛んだり、熱でゆがんだりしないので屋外イベントにもぴったり

う、うれしい効果もうまれたそうです。地域のお祭り、スポーツイベント、学園祭などリユース食器活躍の場は、まだまだたくさんあります。毎年少しずつ改善されているとはいえ、1人1日当たりの排出量がまだ全国ワースト10に入っている群馬県。高橋さんは「リユース食器が当たり前」の世の中に、小中学生のみなさんから広めていってほしい」と話しています。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

特定非営利活動法人ぐんまりユース食器センター

高橋美津子理事長 60人
伊勢崎市日乃出町285-1
mail fe5spa@soleil.ocn.ne.jp
http://gunma-reuse.jp/

花の景観まちづくりを行う環境美化ボランティア団体「粕川フラワーロードの会」から独立。ふるさとを美しくしたいという気持ちで活動を続けています。



いろんなところで使われているんだね

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

マイバッグを持ち歩こう!

今年の7月1日から、レジ袋が有料化されることは知っていますか？ レジ袋は便利ですが、使いすぎると環境によくない影響を与えてしまいます。日本では、レジ袋をどれくらい使っているのでしょうか？なんと、年間1人あたり平均450枚も使っています。全国規模で考えると、年間約300億枚もの量になります。レジ袋を一日一枚削減すれば、年間22kgものCO₂を削減することができます。レジ袋有料化を機に、マイバッグを持ち歩いて、環境にやさしい買い物をしましょう。

群馬県環境サポートセンター